

# 平成 27 年度第 4 回遠野市総合計画審議会 — 議事概要 —

(開催要領)

- 1 日時 平成 27 年 5 月 18 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 15 分
- 2 場所 あえりあ遠野 交流ホール
- 3 出席者

(1) 委員

会長	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
副会長	荒田 良治	一般社団法人遠野市観光協会会長
委員	千葉 和	NPO 法人遠野エコネット代表
委員	千葉 純子	一般社団法人遠野市医師会会長
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	菊池 一晃	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会副委員長
委員	佐々木弘志	遠野商工会長
委員	小松 正真	一般社団法人遠野青年会議所理事長
委員	菊池香南子	遠野市校長会副会長
委員	佐々木國允	遠野市郷土芸能協議会会長
委員	内館 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長
委員	木村 稔	岩手県南広域振興局経営企画部長
委員	高宏 美鈴	公募
代理	菊池 修市	遠野地方森林組合参事
代理	工藤 和信	遠野市 P T A 連合会副会長

(2) 遠野市

本田 敏秋	市長
菊池 孝二	副市長
藤澤 俊明	教育長
菊池 文正	経営企画部長
飛内 雅之	経営企画部まちづくり再生担当部長
菊池 永菜	経営企画部 I C T ・ 医師確保担当部長
荻野 優	総務部長
古川 憲	健康福祉部長
佐藤 浩一	産業振興部長
大里 政純	農林畜産部長
仁田 清巳	環境整備部長
小向 孝子	遠野文化研究センター一部長
小時田光行	消防本部消防長
朝倉 優香	市民センター国体開催推進室主幹
多田 博子	教育部長兼子育て総合支援センター所長
鈴木 英呂	企画総括課長
澤村 一行	財政担当課長

4 欠席者

委員	松田 克之	遠野市消防団団長
委員	菊池 一勇	花巻農業協同組合理事

委員	菅沼 隆子	一般財団法人遠野市教育文化振興財団副理事長
委員	佐々木栄洋	公募
委員	鳥屋部恵児	公募
委員	菊池 広樹	公募
委員	菊池 浩彦	公募

(議事次第)

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 出席者報告及び日程説明
- 5 審議
  - (1) 第2次遠野市総合計画基本構想(案)について
    - ア 前回の審議会まで出された意見への対応について
    - イ 審議
- 6 答申
- 7 その他
- 8 閉会

(配付資料)

- 1 次第、名簿
- 2 第2次遠野市総合計画基本構想(案)
- 3 第2次総合計画の基本理念について
- 4 第2次遠野市総合計画策定予定について

## (議事概要)

### 1 開会

#### ○菊池文正 経営企画部長

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ただ今から、平成27年度第4回遠野市総合計画審議会を開催いたします。

初めに、遠野市長からご挨拶を申し上げます。

### 2 市長あいさつ

#### ○本田敏秋 遠野市長

皆さん、たいへんご苦労さまです。集中的な審議をしていただいております。今日は3回目の審議となります。5月7日に1回目の審議、先般の5月13日には2班に分かれて集中的な審議をいただいております。今日は3回目の審議で、答申をいただけるということで日程が組まれています。本格的な農作業が始まり、何かとお忙しいところ、これからの遠野のあり方に、真剣に議論を重ねていただき、心から御礼と感謝を申し上げます。

先般の新聞で、復興という課題に対して、国が大きく政策変更することが報道されました。危機的な状況が生まれてきています。集中期間としての5年間は平成27年度で終了し、平成28年度からは、地元負担を求める新たな取組方針を国が出してきました。これは、あらかじめ決められた仕組みの延長線ではないかということもありますが、被災地の復興を始めとして、仮設住宅、災害公営住宅、学校の整備、公共施設の整備の問題など、これらが平成27年度までの5年間で順調に進んだらどうか。そうであれば、新たな仕組みの中で地元負担を求めたことになるのですが、順調には進んでいないわけです。集中期間が終了したということで、国が新たな仕組みを打ち出してきた中で、我々市町村も、それに対しどのように立ち向かっていくのかということになります。

先般、東北市長会が仙台市で開催されました。その中で、この問題が大きく議論され、緊急決議ということで、国に対して一丸となって立ち向かうということを確認し合いましたが、なかなか地方の実情、被災地の事態が国に届いていないのではないかと感じます。東北横断自動車道釜石秋田線の花巻釜石間の復興支援道路については、予定通り2018年までに全通すると国が発表しました。ただし、これも予算の付き具合によるということですので、我々も国に対し、予算をしっかり確保していただき復興支援をするという位置付けのなかで、次のステージに向かって行かなければなりません。

これまでご審議いただいた様々な中から、答申をいただくわけですが、この審議会の議論と並行する形で市長と語ろう会を開催しています。今日は、上郷地区にうかがいます。これまで8地区で開催しています。今日の上郷地区で9地区目、明日の宮守地区、明後日の青笹地区で全11地区全てで開催することになります。次に控える基本計画、実施計画にこれらを反映していかなければなりません。その中で、地域コミュニティーについて28件ほどの意見を、環境保全について23件、道路・水路整備について19件、保健・医療について13件と、全部で160件程の意見をいただいております。明後日までに200件程の意見をいただければと思っています。また、参加者数もおそらく300人は超えるのではないかと思います。それなりの手応えを感じながら、市長と語ろう会に臨んでいます。この結果を整理し、委員にも説明し、市民の皆さんにも丁寧に説明したいと思っております。その繰り返しの中で、今日、答申いただく基本構想を基本計画、実施計画として進めていきたいと思っております。

昨日、体育館と温水プールが、グランドオープンしました。JOC日本オリンピック委員会のご協力とご理解を得まして、オリンピック選手5人が遠野に駆けつけました。北京オリンピック、ロンドンオリンピック、アトランタオリンピック等で活躍した世界の一流アスリートです。遠野の子どもたちの目の輝きを見て、この中からオリンピック選手が出てくるのではないかと感じました。貴重な財源を確保しながら子どもたちに夢と希望を、また、一方においては、高齢社会における健康増進に取り組む拠点が『とすぼ』という愛称で立ち上げることができました。

今日は、柳田國男先生の生誕の地である福崎町から、福伸電機(株)の代表が見えられ、高齢者用、障害者用の移動用のカートを3台、寄贈していただきました。ふるさと村と吉祥園に

配備することとしました。これらのことも首長同士が訪問しあうような友好関係だけでなく、市民訪問、様々な物産交流、交流の中から絆を改めて確認することができました。

また、『我が家の食卓 かかせぬおかずは その日の出来事』という三行詩が、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞を受賞しました。これは、遠野中学校の生徒の作品でした。3月27日に、文部科学省から全国から小学生の部には72,000点、中学校の部では45,000点の応募の中から、遠野中学校の生徒の作品が受賞しました。家族で囲む食卓と、そこで交わされる会話、コミュニケーションの大切さを改めて気付かせてくれる作品であると思います。これが全国に発信されたということも特筆に値する出来事ではないかと思えます。

さらなる新しい遠野のあるべき姿について、ご支援とご理解をいただきますように、心からお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 3 会長あいさつ

#### ○菊池文正 経営企画部長

続きまして、臼井会長よりご挨拶をお願いします。

#### ○臼井悦男 会長

皆さん、ご苦労さまです。日曜日に中学校の運動会がありましたが、周辺の山々も日増しに緑の濃さが増してきています。子どもたちの歓声を聞いていると、躍動感にあふれ力強さを感じました。

基本構想の審議も今日で3回目です。今日は、答申としてまとめていきたいと思えますので、熱心な議論をよろしくお願いいたします。

### 4 出席者報告及び日程説明

#### ○菊池文正 経営企画部長

4番に入ります。出席者報告及び日程の説明についてです。

本日、委員の皆さま方の出席状況は、25名中代理出席を含めて17名の委員の皆さんに出席いただいています。欠席の報告は、9番の菊池一勇委員、17番の菅沼隆子委員、21番の佐々木栄洋委員、22番の鳥屋部恵児委員、25番の菊池浩彦委員の5名です。なお、荒田副会長は遅れての出席と連絡が入っています。市の出席者については、会議資料の2ページ目に記載しております。

次に、本日の配付資料について、ご確認をお願いします。当日配布となっておりますが、一つ目は次第と名簿。二つ目は資料No.1 第2回遠野市総合計画基本構想(案)です。三つ目は資料No.2 基本理念の検討資料です。四つ目は資料No.3 第2回遠野市総合計画策定予定についてです。

本日の日程についてです。この後、事務局から前回の審議会で出された意見への対応について説明します。その後、審議に入ります。基本理念については遠野スタイルの創造、進化、創造・発展、進展などに分かれていますので、今回まとめていただきたいと思えます。

本日の終了時刻は、午後3時30分頃を予定しております。

これからの進行は、臼井会長にお願いしたいと思えます。

### 5 審議

#### ○臼井悦男 会長

それでは、次第の5の審議に入ります。まずは事務局から資料の説明をお願いします。

#### ア 第2次遠野市総合計画基本構想(案)について

##### ○鈴木英呂 企画総括課長

それでは説明に入ります。よろしくお願いいたします。

\*下記資料を説明(約12分)

○臼井悦男 会長

何か確認したい事項等ありませんか。

○小松正真 委員

43 ページの大綱1では「遠野の歴史・風土及び街並み」となっています。遠野の歴史・風土といえは昔からあるものになると思いますが、45 ページの大綱3では「中心市街地に整備する本庁舎を核とする街並み」とあります。今まで中心市街地では、遠野駅を中心に環境整備をしてきたと思いますが、新しく整備する本庁舎という表現でよいのかどうか。

48 ページの共通優先方針の産業振興・雇用確保では『観光・移住案内等の拠点としての「道の駅」』となっていますが、移住の業務は、で・くらす遠野に集約した方がよいと思いますが、どのような感じですか。

同じページの少子化対策・子育て支援では「自らの力で未来を切り拓くため、学力向上」となっていますが、遠野の目指す方向としては6次産業を推進することだと思いますが、単純な学力向上に向けた取り組みでよいのかどうか。例えば、今は、6次産業の専門家があまりいないのですが、そのような学力支援とかが今後、必要になってくるのではないかと思います。

○海老糸子 委員

48 ページの共通優先方針の「安産の里づくり」とは、どのようなものですか。

◆飛内雅之 経営企画部まちづくり再生担当部長

大綱3についてお答えします。大綱とは10年間にわたるものです。なぜ、本庁舎を中心市街地に建てたのかですが、本庁舎を中心に中心市街地を活性化させるためなので、この10年は、本庁舎を核として、これまでの良さも生かしつつ、新しい街並みを作っていく決意を表したものです。

◆多田博子 教育部長兼子育て総合支援センター所長

安産の里とは、市民が安心して産み育てられるまちということで、もちろん、産婦人科医の招聘は、今までどおり続けていきますし、ねっと・ゆりかごという助産院の発展形を目指し、市民の方もですし、遠野に来て産んで育てたいという人たちにも働きかけもしていくということで、安産の里づくりを掲げています。

◆鈴木英呂 企画総括課長

道の駅について、共通優先方針は、大綱1から5までを横串的に共通事項としてまとめているので、同じような表現も出てくる部分もあります。ですが、その中で特記する部分として表記しています。移住案内の部分ですが、道の駅は建物、施設としての拠点であり、で・くらすは機能の部分とも考えています。

○佐々木國允 委員

どの部分ということではないですが、戦後70年ということから大きな視点からですが、戦争で失われた日本の財産、文化があると思います。遠野では、文化研究センターを立ち上げたりして、それぞれの部署で実施していますが、市民の意識が、そこには届いていないと感じます。もっと、市民の意識改革がなされないといけないと感じます。日本人の精神性が遠野にもあるということが必要だと思います。それが児童、生徒への教育にもつながりますし、食生活もそうですし、全ての面で、日本の優れた部分があるということを認識できるような、意識改革が必要かと思います。

○千葉純子 委員

「安産」と言いますと、一昔前の産めよ育てよの感じがして、今風ではないと感じます。「妊娠から育児まで」とありますが、今は、産婦人科医がいない状態で、ここまで強調すると少し

言い過ぎかと思しますので、「安心して出産・育児のできる里づくり」など、優しく具体的な表現の方が良いと思います。

○佐々木國允 委員

学力向上については、食生活が改善されていくと個人が持っている能力を十分に発揮されていくと思います。単なる支援ではなく、はっきりと学力向上として進めることはよいと思います。

○臼井悦男 会長

先ほど、戦後 70 年との意見がありましたが、もう少し具体的にこの部分を見直した方がよいとかありますか。

○佐々木國允 委員

大きな面では、遠野も、日本の動きとあまり変わらない部分もあると思います。それは、物資が豊かになった社会で生活している部分。心の貧しさを大事にしていく部分が、欲しいと思います。日本が少子化に向かって、危機感を感じなければならないのは、滅びる国の一途をたどっていることだと思います。滅びる国には、3つの要素があり、その3つに触れている部分が多いと思いますので、そうではない社会にしていくためには、日本の国の成り立ちというか歴史を学ぶ、教えること。3つの要素は、1つは、国の歴史を知らない、2つは物資が豊か、3つは心の価値を失った・夢がないです。恵まれて社会で生きる子どもたちの姿を見ると、そうした部分が心配です。

○菊池一晃 委員

地域づくりについてですが、ここに書いているとおりだとは思いますが。これは、これから10年間を考えて作った大綱だと思いますが、10年という長い期間ですと、どのような変化が起きるか分からない。今は、高齢化がどんどん進んでいます。認知症から施設の問題まで、いわゆる地域のコミュニティーの問題も出てくると思います。大綱2の地域福祉の部分で、もう少し活字があればと感じました。

○小松正真 委員

46 ページの大綱4ですが、芸術振興で「遠野物語ファンタジーに代表される郷土の芸術を振興し」とありますが、ファンタジーが代表で良いのでしょうか。

○菊池香南子 委員

48 ページの共通優先方針について、学力向上については46 ページで「義務教育9か年にわたる学習を充実させ、学力の向上に努める」とあるので、48 ページに記載するのは、この表現でよいのかと思いました。もし、掲載するのであれば、他の言葉としては、これも46 ページに記載されていますが「生きる力の育成に向けた取り組み」かと思います。学力の向上となると、言葉から受けるイメージとしては、学習内容を定着させて点数を上げていくという認識になる人もいるかと思います。ここは、別の言葉のほうがよいと思います。

○工藤和信

学力向上となると、成績重視と感じます。

○千葉純子 委員

学力の向上は「十分な学識を身につける」など、大きな意味の言葉を使ったほうがよいと重みます。手に職をつけることも大事ですし、地域も大事ですので、学識という言葉でまとめてもよいと思います。

○千葉和 委員

36 ページの市長と語ろう会の部分ですが、今日、答申するので、明日以降実施する部分は掲

載できないということでしょうか。できれば、全てを含めたものにしてほしい。また、まとめが件数だけでは、さみしいです。市長と語ろう会で、真剣な意見が出ているので、件数だけではもったいないと思います。

#### ○菊地セツ子 委員

47 ページで「地方版総合戦略の推進と」ありますが、この言葉の説明はどこかにつくのでしょうか。

また、「男女が対等にあらゆる分野で」とありますが、男女共同参画は、まだ全ての分野では無理ですし、男女が対等という表現には違和感があります。「特性を生かして」としたほうがよいと思います。

#### ○河野好宣 委員

48 ページの共通優先方針について、前回、人口減少への対策を入れてほしいと言ったことに対し、対策を記載していただき、大変、苦勞されたと思います。ありがとうございます。これらを基本にしなが、基本計画、実施計画に進んでいくと思います。

先ほど意見がありましたが、遠野物語ファンタジーは歴史もありすばらしい事業だと思えますが、市内に伝統芸能がたくさんありますので、遠野物語ファンタジーだけが代表ではないと思います。

あと、市長は、各町で市長と語ろう会を積極的に実施しており、ご苦勞様です。議会でも、年2回、地域に出向き市民の声をいただいておりますので、議会でも実施することも、記載するか、記載しないか別にして、このことも…。

#### ○松田希実 委員

大綱2で、「わらすっこ条例の理念のもと児童の福祉」とありますが、「わらすっこ条例」の対象はたしか18歳までだと思いますが、児童と限定してもよいのかどうか。

あと、『「子育てするなら遠野」による各施策に取り組み』とありますが、分かりやすく『「子育てするなら遠野」を合言葉のもとに』とかにしてはどうかと思います。

#### ○菊池修市

大綱3の林業について、山の部分と製材業の部分が一文でまとめられています。もう少し具体的な記述があってもよいと思います。

「森林整備を進め」とありますので、具体的に、今後の活用とか、山主に還元できる部分を、材として売った場合の部分が、もう少しあればよいと思います。

昨年から、木質バイオマスを進めており、それはよいことですが、山とすれば燃やさずに材として使いたい部分もありますので、その部分も記載できればと思います。

#### ○荒田良治 委員

大綱3で、観光に力を入れている割に観光の記述が短いと思います。

#### ○佐々木弘志 委員

大綱3で、企業誘致もですが、地場企業への支援に関しても記載してほしいと思います。地場産業のほうが、ウエイトが大きいと思いますので、地場産業を強化するような支援についても記載してほしいと思います。

#### ○小松正真 委員

大綱3で、交流の部分では、で・くらすだけではなく民間の人と人とのつながりがあり、それが移住や交流につながってくると思いますので、その部分もあればと思います。

#### ○佐々木國允 委員

大綱4ですが、郷土芸能は、稲作を中心に日本の神話に基づく芸能だと思いますので、郷土芸能についても、触れたほうがよいと思います。

**○内館充幸 委員**

人口減少対策について、共通優先方針として記載されていますが、今後は、総合戦略にもつなげてほしいと思います。

あと、分科会では、市民憲章を変えたい場合はどうすればよいのかとか、総合計画が変われば市民憲章も変えるべきではといった意見があったようです。私は、市民憲章は大枠の約束事と言いますか、市民憲章は変えないで、総合計画の中で見直しをしていけばよいと思っています。皆さんの意見をお聞きしたいと思います。

**○海老糸子 委員**

共通優先方針の少子化対策についてですが、前回は、男女の出会う機会の創出について記載していましたが、今回は抜けてします。子どもを産むためには、男女の出会う機会の創出が重要だと思いますので、出会いの場をつくっていくこともよいと思います。

**○木村稔 委員**

永遠の日本のふるさと遠野、遠野スタイル、これらは遠野を表す良い言葉だと思いますし、続けてほしいと思います。

**○高宏美鈴 委員**

共通優先方針の安産の里づくりについての記述は、違和感があります。安心して安全に産めるとか、少し表現を変えてほしいと思います。

学力向上についてですが、表現的には、学力のみでなく豊かな人間力とかの方がよいと思います。

**○佐々木弘志 委員**

大綱3で、中心市街地の活性化には、中小、小規模事業者への支援・育成が必要だと思います。

学力向上については、「基礎学力の向上」とした方がよいと思います。

**◆多田博子 教育部長兼子育て総合支援センター所長**

安産の里については、たくさんの方から意見をいただきましたので、表現の見直しをしたいと思います。

わらすっこ条例については、対象は児童としているということです。

学力向上についても、皆さんからたくさんの意見をいただきましたので、表現について検討したいと思います。

**◆荻野優 総務部長**

市民憲章について、この市民憲章は新市ができたときに、皆さんから意見をいただき総意のもとで策定したものです。まちづくりの基本になるものとして、市民憲章を定めております。基本的には、今回は変えないということできたいと思います。

**○臼井悦男 会長**

事務局から答申の仕方について相談を受けていますが、今、出していただいた意見を留意して計画案を策定していただきたいと考えています。他に意見はありませんか。

(「なし」との声有り)

**イ 第2次総合計画の基本理念について**

**○臼井悦男 会長**

それでは、資料 No. 2 基本理念について決めたいと思います。意見はありませんか。

**○木村稔 委員**

基本理念について、前回の2班では「進化」で一本化していました。個人的には、1班の「創



造」がよいと思います。これからの 10 年の間に出てくる新たなものもあるかもしれないし、それらを残しつつ「発展」も入れて、「遠野スタイルの創造・発展」が分かりやすく、優しい言葉だと思います。

**○高宏美鈴 委員**

今の意見「創造・発展」に賛成です。「進化」は、どうしても、生物の進化のような意味で使う場合が多いと思います。今までの 10 年で創造があったので、そこに発展を加えればよいと思います。

**○千葉和 委員**

「創造・発展」でよいと思います。

**○河野好宣 委員**

これからの 10 年間で、時代の変化に応じて新たに作らなければならないものも発生してくると思いますので、「創造」はあった方がよいと思います。市民憲章にもある「創造・発展」とした方が、とらえやすいと思います。

**○佐々木國允 委員**

市民の意識を改革するための言葉であれば良いと思いますので「発展」が入っていれば、良いと思います。

**○臼井悦男 会長**

それでは「遠野スタイルの創造・発展」とすることでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、答申案のまとめ方について、事務局から説明していただきます。

**○鈴木英呂 経営企画部企画総括課長**

これから皆さんに、答申案を配布いたします。

先日、会長、副会長と協議し、答申案をまとめてみました。

第 2 次遠野市総合計画基本構想について（答申）。平成 27 年 5 月 7 日付け遠企第 29 号で諮問がありました第 2 次遠野市総合計画基本構想について、当審議会は慎重審議の結果、別添のとおり答申します。この別添とは、今日、審議していただいた資料のとおりとなります。

なお、審議の過程で提案のあった各委員の意見等に十分に留意し、本市の特性を活かしながら「永遠の日本のふるさと遠野」の実現を目指して、果敢に施策の推進に取り組まれるよう要望します。

- 1 計画の推進においては、計画の進捗状況と評価結果を随時情報公開するとともに、市民にとって、まちづくりの進行管理が分かりやすいものとし、市民と行政が一体となった取り組みにより、計画の着実な推進を図りたい。
- 2 市民との協働活動の推進においては、地域づくり団体等の主体的活動への支援や連携に努め、地域コミュニティの振興と地域づくりに取り組まれない。
- 3 市政運営においては、少子化・高齢化の進行、人口減少社会の到来、自然災害、エネルギー問題等、本市を取り巻く社会情勢は大きく変化している。これらの課題に適切に対応するとともに、より効果的で健全な行財政運営に努められたい。
- 4 基本理念については「遠野スタイルの創造・発展」が適切と史料する。

以上です。

**○臼井悦男 会長**

このようなかたちで、答申したいと思いますが、いかがでしょうか。6 月市議会に提案される内容です。

(「よい」との声あり)

ここで、10 分間の休憩をとります。

## 6 答申

### ○菊池文正 経営企画部長

ご審議、大変ありがとうございました。

それでは、臼井会長から、第2次遠野市総合計画基本構想について、遠野市長に答申をお願いします。

市長は、会長席まで移動願います。

### ○臼井悦男 会長

遠野市長、本田敏秋様。遠野市総合計画審議会会長、臼井悦男。第2次遠野市総合計画基本構想について（答申）。

平成27年5月7日付け遠企第29号で諮問がありました第2次遠野市総合計画基本構想について、当審議会は慎重審議の結果、別添のとおり答申します。

なお、審議の過程で提案のあった各委員の意見等に十分に留意し、本市の特性を活かしながら「永遠の日本のふるさと遠野」の実現を目指して、果敢に施策の推進に取り組まれるよう要望します。以下、記載のとおりです。

### ○臼井悦男 会長

ここで、遠野市長からご挨拶を申し上げます。

### ○本田敏秋 遠野市長

大変、ご苦労さまでございます。ただ今、臼井会長から3回にわたって集中的な審議をいただいた第2次遠野市総合計画としての基本構想について答申を受け取りました。

議論の経過をよく踏まえ、果敢に新たな遠野のまちづくりに挑戦してほしいという旨の皆さんの意見を謙虚に真正面から受け止めて基本構想を6月定例市議会に提案し、議会の場でも議論をいただきながら、また、ただ今開催している市長と語ろう会の他にも様々な市民の皆さんの意見を丁寧にお聞きし、また、丁寧に説明をしながら、次の基本計画、実施計画につないでいきたいと思っていますので、よろしく願います。

前段のあいさつで申し上げましたが、遠野中学校の生徒が三行詩で受賞。このようなコミュニケーションを大事にしながら、明るい食卓の中から家族の輪、地域の輪、さらには遠野の輪を確かなものにしていくためにも、この中学生の発想、言葉の持つ意味を、我々大人もしっかりと受け止めるようなまちづくりをしていかなければならないと改めて決意しています。よろしく願いまして、お礼のあいさつに代えさせていただきます。

なお、6月定例議会の審議を経たうえで、市長と語ろう会を踏まえながら、8月頃には、臼井会長と協議し、総合計画審議会を開催して、その後の状況等について詳しく丁寧に説明していきたいと思っておりますので、よろしく願います。ありがとうございます。

## 7 その他

### ○臼井悦男 会長

事務局から何かありますか。

### ○鈴木英呂 企画総括課長

資料No.3について説明します。

\*下記資料を説明

・資料No.3 第2次遠野市総合計画策定予定について

## 8 閉会

### ○菊池文正 経営企画部長

臼井会長、大変ありがとうございました。長時間に渡りまして、大変タイトなスケジュール

でしたが、本日答申をいただきました。改めて、感謝申し上げます。

以上をもちまして、平成 27 年度第 4 回遠野市総合計画審議会を終了させていただきます。  
大変ありがとうございました。